

シルバーパス負担軽減を

共産党都議団が 条例改正を提案

日本共産党東京都議団は2月21日、高齢者の交通運賃を補助するシルバーパスについて、発行の費用負担を軽減する条例改正案を第1回定例会に提出することを発表しました(下写真)。

シルバーパスは、70歳以上が対象で、高齢者の社会参加、健康維持にとって、かけがえのない制度です。

ところが、かつて多くの都民が無料で利用できたシルバーパスは、石原知事のもと、すべて有料化されてしまいました。負担額は、住民税非課税または所得が125万円以下の人は1000円、それ以外の人は2万510円となっています。しかし「2万510円は高すぎる」という声が数多く寄せられ、日本共産党都議団はこの間貫して、3千円や5千円など所得に応じた費用にするよう提案してきました。

共産党の提案内容

- ①シルバーパス発行の費用負担を所得に応じた額として軽減する
- ②新たに多摩モノレール、ゆりかもめで利用できるようにする
- ③民営バスは乗車か降車のいずれかが都内の停留所であれば利用できるようにする

また、シルバーパスは都営交通(都バス、都営地下鉄、都電、日暮里・舎人ライナー)と都内の民営バスの乗車には利用できますが、多摩モノレールなどには使えません。民営バスは乗車と降車の両方が都内の停留所であればならず、いずれも都民から改善の要望が寄せられていました。

高齢者の暮らしと健康を守る都政改革を

無料パスがあった時代には70歳以上の高齢者の72%が利用していたシルバーパス。今日では46%と、5割を切っています。負担軽減などの改善は、高齢者の社会参加の促進、健康維持にとって必要です。実現させるため全力をあげます。



都議会議員(江東区選出)

あぜがみ・みわこ

あぜ上三和子

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-3370-0311、FAX 03-3370-0471

2017年2・3月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

